

●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2204 回 例会 記録

《社会奉仕委員会担当例会》

2022 年 3 月 17 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1636



オンライン参加の
吉田立盛会員

《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。先日の例会の時に、ウクライナにもロータリークラブがある、ということをお聞きしましたので、すこし調べてきましたのでそのお話をしたいと思います。パソコンの画面をスクリーンに映します。インターネットで「ロータリークラブ ウクライナ」と検索すると、「事務総長 | MY ROTARY」と出てきます。進みますと、国際ロータリーとロータリー財団の事務総長のジョン・ヒューコ氏の紹介ページです。ウクライナのキエフロータリークラブ所属とあります。「2004 年から 2009 年にかけて、世界最貧国への対外援助を行うために 2004 年に設立された米国政府機関、ミレニアムチャレンジ公社 (MCC) の副社長として活躍。米国の主要交渉人として、アフリカ、アジア、南米、中東、旧ソビエト連邦の 26 カ国との海外支援協定を担当。」「ウクライナ在任中の 1990 年初め、ソビエト連邦崩壊後のウクライナの新憲法の草案に携わっていたグループを援助。キエフで初のロータリークラブの創立会員。」だそうです。フェイスブックページには、ウクライナへの人道支援を訴えるメッセージが掲載されています。



続いて、マイロータリーのニュース「ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援」という記事の一部を紹介します。「ウクライナには 62 のロータリークラブと 6 の衛星クラブがあり、その会員数は約 1,100 人です。また 24 のローターアクトクラブがあり、その会員数は 300 人以上です。第 2232 地区 (ウクライナとベラルーシ) は、この危機の影響を受けた人びとを支援するための委員会を結成しました。委員会は、生活必需品を確保するための募金に乗り出し、世界中のロータリー会員に支援を呼びかけています。」



《出席報告》米内副委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 7 名を含む 24 名。出席率は 82.8% です。

国際ロータリー理事会 2014 年 1 月会合の沙録を見ますと、「第 2230 地区 (ベラルーシ、ポーランド、ウクライナ) のクラブが、第 2231 地区 (ポーランド) および第 2232 地区 (ベラルーシ、ウクライナ) に編入 (2016 年 7 月 1 日より) とあります。1 つの地区に複数の国があるということがまったく想像できないところでもあります。ロータリークラブが国際組織なのだなどと改めて感じました。

ロータリーリーダーシップ研究会 (2021 年 3 月更新) の資料の中には、2020 年 11 月、第 2232 地区ウクライナ/ベラルーシで最初の RLI 指導者研修会が行われたことが掲載されています。

続いて、第 2232 地区のウェブサイトを見ていただきます。ロータリークラブを探す、というところを進みますとウクライナの地図が出まして、各都市の検索ができるようになっています。首都であるキエフを選びますと、クラブ名が表示され、数えますと 11 クラブでした。Google 翻訳というのをを使うと、サイトをまるごと翻訳することができますので、海外のサイトも内容がわかるので、こういったものを利用すると情報収集に役立ちます。

「ロータリークラブ ウクライナ」と検索に戻りまして、ニュースを選びますと、青森ロータリークラブが募金活動をしたというニュース動画が出ますので、ご覧いただけます。

話は変わりまして、今月は、「水と衛生」月間です。3 月 22 日は国連が定めた「世界水の日」(World Water Day) です。水がとても大切であること、きれいで安全な水を使えるようにすることの重要性について世界中の人々と一緒に考えるための日です。当クラブでは、「NPO 法人水辺の学校まべち」様の活動に参加しております。本日は、社会奉仕委員会担当例会ですので、橋本委員長お願いいたします。

《配偶者誕生日》



赤穂会員



小原会員



米内会員



櫻田会員

《結婚記念日》



出員会員

《幹事報告》慶徳幹事



・地区事務所よりガバナーノミニージェグネード決定のお知らせが来ています。五所川原RC 花田勝彦様がガバナーノミニージェグネード、2024-25年度ガバナーに決定しました。

・地区事務所よりウクライナ支援のお願いが来ています。1人千円程度のご協力をお願いします。

・地区事務所より第43回バギオ訪問交流旅ツアーの案内が来ています。募集要項は事務局にありますので興味のある方は事務局まで。

・地区事務所よりヒューストン国際ツアー中止のお知らせが来ています。ツアーは中止になりましたが個人でお申し込みの方には朝食会などのお知らせが来ていますので、ご参加される方がいらっしゃいましたら事務局までお願いします。

・文集「緑と花」、ザ・ロータリアン英語版が届いています。

《ニコニコボックス》米内副委員長

西尾会長：橋本委員長、よろしくお願ひいたします。

慶徳幹事：橋本委員長、本日はよろしくお願ひいたします。

松田会員：橋本委員長、よろしくお願ひいたします。

出員会員：3月22日で結婚22年目となります。

配偶者誕生日：赤穂会員、小原会員、米内会員、



櫻田会員

結婚記念日：松橋会員、出員会員

《地区財団アドバイザー》長嶺会員



皆さんは今ニュースをご覧になって心を痛めていると思います。ニュースは戦争映画ではなく現実の戦争です。

日本では鳥インフルエンザが発生したときに殺処分された鶏を掘った穴の中に投棄し処分しますが、2、3日前のウクライナのニュースでは重機で大きな穴を掘り、亡くなった方の遺体をビニールにくるんでその穴の中に次々に埋葬している映像があり、見るに堪えないニュースでした。

我々には失われていく命を助ける手立てはないと思うのですが、我々ロータリアンは戦火を逃れて避難したウクライナの人びとを人道支援することはできると思います。皆さんに人道支援に協力していただけたらとの思い出この場に立っています。

今、ロータリー財団のジョン・ジャーム財団管理委員長がロータリーの正式な窓口として「災害救援基金」という窓口をもうけました。そこに寄付して頂いたものをウクライナの人道支援に使うというプログラムです。6月30日迄はウクライナと国境を接するロータリー地区、ウクライナの中にあるロータリー地区に災害救援基金から上限5万ドルの補助申請を受けています。この補助は、水、食料、シェルター、医薬品、衣料品といった援助物資に充てられるということです。

国境を接する国以外でも避難民が避難していて被災者を支援する地区にも2万5千ドルを上限に補助することになっています。

要するに、ウクライナの中にあるロータリー地区、国境を接する国にあるロータリー地区には5万ドル、その外側であっても避難民を支援する地区には2万5千ドルを上限に補助しますということ、今、ロータリー財団でやっています。

先程会長の方からもマイロータリーの紹介がありましたが、今、マイロータリーには国連発表で200万人が近隣諸国に避難していて、その大多数が老人と女性、子どもだそうです。男性は18才から60才までは国を守るために国外に出られない状況なので、18才から60才までの男性は国防のために命を懸けて戦っているという状況だそうで、それ以外の人たちが国外へ避難していて、食べるものも住むところもないというような大変な思いをしているので、ロータリー財団がまわりの地区にあるロータリーを通してお金で支援して行きましょうというプログラムを行っています。ウクライナ国内でも避難民が100万人いるそうです。国連発表で300万人位の避難民がいるということですので、そういう人たちに対しての人道支援はロータリーがやっていかなければいけない、これは当然の活動だと思います。

2830地区としては3月5日のDTTSでロータリー財団の委員会を設けて、ウクライナの支援にまだ使っていない地区のDDF15,000ドルを財団へ寄付することが決まりました。この寄付以外にもガバナーから皆さんに1,000円程度の寄付をしてくださ

いとありますが、それをまた財団の災害基金へ地区から送り人道支援に充てられます。

それ以外に、今日マイロータリーを見てきましたが、マイロータリーでは「ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援をします」ということが書いてあり、右隣に「詳細を読む」という文字がありそこをクリックしていくと「欧州のローターアクト」という所の隣に「ロータリー財団がウクライナでの救援活動のための寄付の窓口を設置しました。ご寄付をお願いします」という窓があり、そこをクリックすると個人でウクライナの人道支援に寄付する窓口がありますので、寄付してもいいよという方がいらっしゃいましたらそちらも利用していただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

《ホテル担当事務局退職挨拶》木谷さん

皆さんこんにちは、1月中旬から3月末まで休職しておりましたが、この度私事で大変恐縮ですが3月31日を持ちまして退職させて頂くことになりました。ホテルに入社したのが高校卒業してすぐで、ロータリーの事務局をお手伝いさせていただいて約10年経ちました。その中には沢山の思い出があって、三川会員が会長の時にクリスマス例会でサンタのマンントを着て「きよしこの夜」を指揮したこととか、5年前にホテルに復帰してからも家族例会で私の家族も仲良くさせて頂いたこと、本当に感謝しております。皆さんに出会えたことが嬉しかったですし、ホテルで経験したことを今後活かして頑張っていくと思いますので、皆さん今後とも八戸パークホテルの事をよろしくお願ひいたします。今迄本当にありがとうございました。



《社会奉仕委員会》橋本委員長



今日は「水辺の楽校」についてお話をさせて頂きたいと思います。

皆さんの中にも参加されている方が沢山いらっしゃいますので、私共の活動にご理解いただいていると思いますが、馬淵川に「水辺の楽校」という場所があります。これは「大橋」のたもとにあり、右岸、左岸両方にありますけれども、子どもたちが遊べるような環境を作りたいということで、国土交通省の方で整備してくれた場所です。一つには「せせらぎ」が流れております。対岸には、我々ワンドと呼んでいますけれども「入江」がありまして、そこに野鳥などが住める環境の場所があります。この、右岸、左岸2カ所にあるのが「水辺の楽校」と呼ばれている場所になります。私も設立当時から国交省と色々協議しながら、どうやって活用していったら良いか、こういうことを相談受けながら進めてきました。今は除草作業などを行っています。そ

こで環境をよくするためにはゴミ拾いをしたりしていますが、何が何でも現場に行こうという場所が馬淵川にあるんだということを理解することが重要で、そこに子どもたちも交えて環境についての勉強をする、こういうことを続けて参りました。

近くでは八戸小学校、第二中学校、江南小学校、対岸に行くと城北小学校、下長小学校、下長中学校といった沢山の小学校、中学校があります。我々の時は川で遊んだものですが、今はいろいろなことがあって中々川に接することが少なくなっていますけれども、一番重要なのは「水」というのは、我々の体は70%位が「水」で出来ている、そういった事を考えた時に「きれいな水」というのは、最後に自分に帰ってくる、つまり「水」を汚すということは自分の体も汚れるということではないのかと思っています。

一度馬淵川の源流という所に行きました。これは下長中学校の生徒さんたちと行ったのですが、馬淵川はどこから流れているのという話をした時に、じゃあ行って見るかということでも国交省のバスで、ずうっと岩手県の方まで上がって行きます、どこに行くのかなと思ったら葛巻という場所でした。葛巻に牧場があり、そこが源流だと言うんですね、馬淵川というのは142キロくらいある川ですので、いろんなところから支流が入り込んでいるのですが、一番のものは葛巻にありました。そこには祠がありまして、そこからコンコンと水が湧き出ていました。馬淵川の源流は皆さんも行った事がない方がほとんどだとおもいますが、一度ロータリーで行って見てもいいのではないかといい場所です。非常に風景の良い場所でした。

源流があって、そこから流れてきた水を我々が飲んでいるということになります。その水が海に戻ってそこから雨なり雪なりになって山に戻り、それがまた戻ってくるという循環を繰り返しているということだと思います。

去年から今年にかけて、人が集まっていけないということが言われておりましたので、中々活動が出来ておりません。「水辺の楽校まべち」としてもなかなかイベントが出来ていませんでしたが、今年はいつもの通りにゴミ拾いをしたり、何かの企画をして皆さんと「水」についての勉強をさせて頂きたいと思っています。

ロータリーの中で「水」というものの資源について研究がなされているということですので、我々も逆に勉強する機会があれば良いなと思っています。世界的な見地でロータリーでは研究していると思いますので、そういった情報提供も我々に頂ければすぐ役に立つと思います。

ということで、今年もまたお声をかけさせていただく予定になって居ります。どのような企画が良いのか提案いただければ、私たちは本当に少ない人数でやっていますので、是非ご協力を頂きたいと思っています。